

残念です

秋田市

瀬下優美子

桜の開花が待ち遠しいです。長年、太平洋沿いの桜並木にいやされてきました。2年続いた長雨で、被害に遭われた地域が多々あります。そのため、改修工事とともに、桜の巨木がバツサリ切られてしまい、残念になります。

終わってから

岩手・一関市

佐藤康子

野菜も高い。2カ月ぶりに美容室に行く、こも400円も上がってしまいました。物を買うなら値段を見たり、聞いたり

しますが、パーマの料金は終わってからの。苦笑いしかない。

認知症が心配

札幌市

吉岡

新聞や雑誌に「認知症は早期治療が有効」とよく掲載される。78歳の私も、化粧品品の順序を間違えたり、電子レンジやガスレンジに食品が入ったままになっていることや、「言った」「言わない」のことが多く、心配になり受診した。

健保適用外の薬が効果ありと1カ月服用して再度受診。医師は、初診で間違えていた記憶テストが「今回は正しかった」と効果を強調される。実は

飲み忘れが3分の1くらいあった！医師の診断を疑う私、夫は資格を持った医師を信頼すべきという。健保適用外が引かかるのですが...

読者がつくるページ

日々の楽しみ

京都・大山崎町

ほんのむし

私の日々の小さな楽しみは、就寝前の読書と休みの夜の映画鑑賞。読みたい本の割に、読める本は圧倒的に少ないし、映画も、ひと月に4本見られたらよいほう。文字通りの「生きる糧」心の友です。落ち込んだときには寄り添い、あるいは励

ファミレス勤務
茨城・土浦市
佐々木早子

ファミレス勤務を始め、5月で丸18年。子どもの成長とともに労働時間が長くなり、リーダーの肩書きがついていますが、時給と責任は釣り合っていないと感じます。店舗に1人の社員がいればよい方で、複数店舗マネジャーのお店もあります。これだけバイトに頼っているのですから、会社のトップよりも私たちの給料に回してほしいね、と話しながら働く日々です。

原稿募集

☆テーマ：おすすめの映画／私のターニングポイント(転機)／戦後80年と私
投稿や作品をお待ちしています。また、紙面への要望・意見などお寄せください。投稿は300字前後、短くする場合もあります。住所・氏名・年齢・電話番号を、匿名希望の方はペンネームを書いてください。掲載した絵手紙は新婦人のSNSに掲載する場合があります。

あて先 〒112-0002東京都文京区小石川5-10-20
新婦人しんぶん編集部
ファクス03-5805-2372
Eメール s-press@shinfujin.gr.jp

川柳

・不断着も口紅変えてよそ行きに
・ジェンダーと叫べど我が家は昭和です
・山口・岩国市 西村 和(78)
・京都・向日市 えつこ

読者文芸

あなたも詩

瀬野とし選

孫守り

栃木県 永森喜美子

始まりは55歳更年期とともに孫守り到来
栄養 色どり 頭ひねってメニュー作り
テレビはアンパンマンに譲った
つみ木 ぬり絵 絵本読み
ブランコ すべり台 砂あそび
河原まで歩いてトンボが頭にお出迎え
メダカ カジカ ヤゴにびつくり
背中であうと帰る道
本気と夢中がぶつかりあつて
4人の孫守り エトセトラ
見え隠れした疲れの悪魔が
出番を待つて泣いたかも

歩く時間

京都府 山口 静子

いつの間にか25年が過ぎ本日
横浜の結婚式に向かって車中の妻
長い長い人生を
長崎県 釣場 照子
今日まで強く生きてきた
メタセコイアの続く小道
静けさの中 いつもの公園
脳細胞を休める散歩
池の小鴨がすうーと
螺旋の波を描く

春來たる置葉屋の国なまり

北海道 広瀬むつき

〈評〉かつては富山県が「置葉」生産日本一で、富山弁で話す葉屋さんがおまけでくれる紙風船が春を告げたものだった。
境界は高齢者のみ紀元節
長野県 石井日奈子

〈評〉高齢者は建国記念日を「紀元節」と言う。こんな名ではない祝日に変えたいものだ。
そぞろ事雑に語りて納めおり
京都府 木村喜代美

〈評〉つつまらないうことを雑にこぼしてしま
凍り餅からりと乾く軒の下
長野県 薄井 百子

巳年春戦なき世へ脱皮せん
群馬県 久保田祐子

春立ちて夫の整髪小半時
静岡県 佐藤佐和子

読者文芸

あなたも俳句

田中千恵子 選

ロボットの踊る世の中春の雪

新潟県 今井 慶子

〈評〉踊るロボット、お話をするロボットなどが、人工知能によつて自然なダンスや会話をする。高齢者の話し相手も介護もロボットに依存するだけではないのか、の疑問を問うかけてくる作品。
積雪異変白川郷の深眠り
東京都 岡崎たかね

〈評〉今年二月、白川郷では積雪2.16mの大
雪。地球の異変はここにも。しばし眠れ白川郷
の「深眠り」の措辞にいやされる。
申告の数字とび交う納税期
徳島県 今井千枝子

〈評〉確定申告のための計算。たとえ数千円でも
過払い金は戻してもらいたいのが庶民の願いだ。
戦見た梅の老木静かなり
奈良県 黒木 但子

〈評〉今年八月は被爆・戦後80年。「戦見た梅の
老木」に、再びの戦火を見せはならない。
〈作品募集〉ハガキなどで編集部「あなたも俳句」係まで。作品は未発表のものに限り